



水子貝塚公園開園 30 周年記念 縄文フェスタ開催！



水子貝塚公園開園 30 周年イベント「縄文フェスタ」が 11 月 16 日（土）に開催されました。当日は 7 団体がステージ上で演奏を披露し、イベントを盛り上げてくれました。

今回のイベントでは、「縄文グルメフェス」を開催しました。縄文時代を思わせるグルメを各キッチンカーで提供していただき、アサリやクリを使用したメニューを来園者に楽しんでいただきました。また、特別審査員と参加作品購入者の投票で最優秀作品を決定しました。最優秀作品は、^{ほつしよ}塊状耳飾り風ドーナツでした。出

品者には、当館館長お手製の土器チャンピオンカップとのぼりが贈呈されました。

もう一つの目玉は、32 年ぶりに行われた園内における発掘調査の見学会です。発掘調査中の貝塚を間近で見る機会はなかなかないので、皆さん興味しんしんで見入っていました。

その他に、縄文体験スタンプラリーやビアフェス・熱気球体験・ツリークライミング・30 周年アルバム展が開催され、多くの人でにぎわいました。

縄文の森から

水子貝塚公園に冬がやってきました。

コナラ、ケヤキ、エノキなど多くの落葉樹はすっかり葉を落とし、冬枯れの姿ですが、クヌギだけは春まで一部枯葉を枝につけたままなので、遠目に見てもクヌギであることがわかります。

そんな冬の公園内でも、つやつや、青々とした葉を輝かせる多くの常緑樹たちが見られます。

公園を取り巻くフェンス内側の低木群は全て常緑樹で、ヤブツバキ、サザンカ、ヒサカキ、アオキ、イスノキが、フェンス外側にもヤマモモ、サザンカ、サツキが植えられています。

園路外周の林内にはシラカシ、アラカシ、スタジイ、マテバシイ、ソヨゴが、縄文の森には園内唯一の針葉樹、カヤがあり、園路の内側では南東部にクスノキが横に大きく枝を広げています。

常緑樹と言えば、春に縄文の森のヤノイスアブラムシの虫こぶを紹介しましたが、公園の北西フェンス近くのイスノキにはヒョンの実と呼ばれるイスノフシアブラムシの虫こぶが見られました。イチジク型の大きなものが虫こぶで、赤丸のついたものが本当のイスノキの実です。

秋に虫こぶから脱出した、幼虫を産む胎生の雌は翅が生えていて、飛んでアラカシに移動し、幼虫を産み、その幼虫は翅の無い胎生雌になり、冬の間はアラカシで過ごし、晩春に翅のある胎生雌が生まれてイスノキに戻り、卵を産む卵生雌と雄を産み、雄雌は交尾産卵し、卵から生まれた幼虫が虫こぶを作り、秋までは虫こぶの中で繁殖をするという複雑な生活環をもっています。冬のアラカシの木でイスノフシアブラムシを探して観察してみたいはいかがでしょうか？



枯れ葉の付いたものがクヌギ



サザンカ



クスノキ



イスノキ



銅鉢 (氷川前遺跡)

口径 18.9cm、器高 4.8cm の大ぶりの銅鉢です。一部だけ欠損していましたが、ほぼ完全な形で見つかりました（保存処理で欠損部を埋めました）。平底に近い丸底で、厚さは 1mm です。

平安時代の銅鉢がこれほど完全な形で見つかったのは県内で初めてです。歴史的な価値が高いとして、令和 6 年（2024）に富士見市指定有形文化財に指定されました。保存処理が完了したので、1 月 25 日から 3 月 2 日まで当館で公開展示します。

令和 4 年（2022）に、水子貝塚のすぐ近くで、発掘調査により発見されました。平安時代の中頃



（10 世紀後半頃）の住居跡のカマドの前に置かれたような状態でした。

銅鉢は、仏事に用いる供養具や、高級品の食器として使われました。市内の宮脇遺跡（羽沢三丁目）では、年代は 100 年程さかのぼりますが、銅製の仏具を鋳造した工房跡も発見されています。

古代から中世へと移り変わる変動の時代、人々の祈りを受け止めた器だったのかもしれない。



水子貝塚 R6 地点（水子貝塚公園内）
調査期間 令和6年 10月9日～

32 年ぶりの発掘調査その後…

昨年 10 月に始まった発掘調査も大詰めにさしかかり、発掘現場をご覧になった皆さんは、何が出てきたかと気になるところでしょう。ここで主な成果をご紹介します。

10 月当初に十字状に試掘溝を掘った結果、縄文時代前期の住居跡が 2 軒重なっていることが確認されました。大きな住居跡を埋めて、その後に小さな住居を建て直したと考えられます。多くの貝殻（ヤマトシジミやハマグリなど）が地層のように積み重なって確認されました。その中には炭化物や骨片がわずかに確認されました。土器は破片ばかりで、全体の形が残るものはありません。

現地調査はまもなく終わりますが、今後の整理作業で新たな発見があるかもしれません。楽しみに！



白線が小さな住居跡



ハマグリブロック

2～4月のイベント予定

* イベント予定は変更することがあります
最新情報は広報富士見か公式サイトで

新指定文化財展 「平安時代の銅鏡」

日時 1月25日(土)～3月2日(日)
内容 氷川前遺跡(大字水子)の平安時代の竪穴住居跡から発見された銅鏡を展示します。平安時代の銅鏡がほぼ完全な形で発見されたのは県内で初めてです。仏教で用いる道具とされ、庶民の信仰の歴史を探る上で貴重な品です。

企画展 「縄文文化のはじまり ～ハケ上遺跡全部見せます～」

日時 3月15日(土)～6月15日(日)
内容 関沢に所在するハケ上遺跡は、縄文時代草創期の土器や石器が豊富に出土することで知られています。
それらの資料を中心に、富士見市とその周辺で縄文時代がはじまったころの様子を紹介します。

ふじみ考古学教室

日時 3月29日(土) 13時半～15時
講師 橋本勝雄氏(千葉県教育振興財団)
内容 「旧石器・縄文移行期における石器群の系譜—石斧、尖頭器、そして石鏃の登場—」
受付 3月1日9時から電話・窓口にて受付

石器づくりワークショップ

日時 3月23日(日) 13時半～15時
講師 金彦中氏(東北大学考古学研究室)
内容 石器づくりの達人による石槍づくりの実演と石鏃づくりの体験をします。
受付 3月1日9時から電話・窓口にて受付

春休みも いつでもセブン

3月27日(木)～4月6日(日)
上記期間中、まが玉づくり等を体験できるイベントを開催しております。詳しくは園内カレンダー・ポスターをご覧ください。

土曜おもしろミュージアム

会場 体験学習室または学習広場
時間 午前10時～、午後1時30分～
受付は各30分前より
各1時間～2時間程度
定員 各15人(当日先着順)
対象 小学生以上
(未就学児は保護者同伴で可)

日程	内容(参加費)
2月1日	どんぐりクッキー(200円)
2月15日	古代の組みひもでミサンガ(100円)
3月1日	貝層パフェづくり(400円)
4月19日	貝の腕輪(100円)

※どんぐりクッキーは受付終了しました
貝層パフェは2/1から電話にて受付開始します



発行日 令和7(2025)年1月31日

編集・発行 富士見市立水子貝塚資料館

国指定史跡 水子貝塚公園内 〒354-0011 埼玉県富士見市大字水子 2003-1

水子貝塚資料館

検索

資料館 HP
二次元コード



☎ 049-251-9686

FAX 049-255-5596

